

## 第4回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 議事概要

- 日 時** 令和4年8月25日（木）10:00～12:00
- 会 場** 仙都会館 8階会議室
- 議 題** 社会実験、第3回市民参画イベントの実施等について
1. 開会
  2. 社会実験等について
    - (1) これまでの検討状況と今後の進め方
    - (2) 社会実験
      - ・ 日程、交通規制等
      - ・ 空間イメージ
      - ・ コンテンツ&プログラム
      - ・ 広報
      - ・ 利活用に関する効果検証
      - ・ 交通処理に関する効果検証
      - ・ 回遊性向上と公共交通機関の利用促進を目的としたマップ設置
    - (3) 第3回市民参画イベント
    - (4) 今後の予定
  3. 意見交換
  4. 閉会
- 配布資料**
- 【資料A】 本日の座席表
  - 【資料B】 協議会委員一覧表
  - 【資料1】 第4回協議会
  - 【資料2】 利活用の内容
  - 【資料3】 社会実験コンテンツ&プログラム一覧
  - 【資料4】 第3回市民参画イベントのチラシ
  - 【資料5】 社会実験のチラシ（社会実験準備事務局作成）

## 【社会実験（利活用関係、交通処理関係）】

### ○主な意見等

#### （委員意見）

- ・交通規制について、社会実験期間は車線運用等が変更されるため、交通安全対策をしっかりと実施いただきたい。
- ・バス停の移転先について、ほうげつビル前のバス停の位置が明確にわかるように誘導等を実施いただきたい。

#### （事務局回答）

- ・交通規制については、事前にチラシ等で周知、広報を行い、都心部において看板や横断幕で案内、周知を行う。
- ・バス停の移転先については、事前にチラシ等で周知、広報を行い、都心部において看板で案内、周知を行う。

#### （委員意見）

- ・バス停の移転については、山形駅等の主要なバス停でも周知が必要と考えている。ほうげつビル前のバス停の名称が変更となる場合は、早急に決定いただきたい。
- ・社会実験区間のタクシー乗り場の休止についての周知、広報にあたっては、「旧さくら野前」等の文言を追加し、青葉通のどのタクシー乗り場が休止となるのか明確にしていきたい。
- ・社会実験実施区間において、タクシー乗降に伴う渋滞等の交通への影響が、発生しないように誘導等をお願いしたい。

#### （事務局回答）

- ・タクシー乗り場の休止については表現の見直しを行う。また、社会実験実施区間内において誘導を行う予定である。

#### （委員意見）

- ・河北新報で社会実験の報道があった際に、「広場化を前提とした」という文言があった。今後の広報活動、マスコミの報道にあたっては、「広場化」という表現は避けるようお願いしたい。

#### （事務局回答）

- ・今後の広報や報道、来週予定されている市長記者会見においては、正確な内容で行うように徹底する。

**(委員意見)**

- ・ 広報の看板、横断幕については、対象の時間帯を「終日」と表記していただきたい。
- ・ 道路交通情報センターのラジオにおいて、社会実験を行っているため注意する内容の広報を行う予定である。
- ・ 交通規制の期間は、資料では日単位のみであるが、時間帯は明確に表記できないか。

**(事務局回答)**

- ・ 交通規制の時間帯は明確に表記したいと考えている。また、交通規制の開始及び終了は、早朝のバスの運行前には完了することで想定している。
- ・ バス停の移転、タクシー乗り場の休止期間は、9月20日～10月13日が正確な情報である。

**(委員意見)**

- ・ 社会実験の実施にあたって交通への影響は避けられないが、交通への影響が市民や県民が許容できる範囲、かつ、交通への影響を上回るような利活用による効果が発現するか否かの効果測定を行って教訓を得ていくことが重要と考える。
- ・ 一般車両の交通量を抑制することが重要と考えるため、公共交通の利用促進について、社会実験期間をもって市民に伝えていけたらよいと考える。

**(委員意見)**

- ・ 仙台駅周辺では、2024年までに10棟のオフィスビルの建設が予定されており、人口流量が増えることが想定されるが、バス停や地下鉄、ペDESTリアンデッキがキャパシティオーバーになるのではないか。また、具体的に人口流量は想定されているのか。

**(事務局回答)**

- ・ 都心部の再構築については定禅寺通や青葉通の大町エリア等と併せて進めていく予定である。オフィスビルによる人口流量の増加についての計算は行っていない。また、バス停や地下鉄、ペDESTリアンデッキに関する検討は、今後の仙台駅前の状況を見ながら検討を進めていきたいと考えている。

**(委員意見)**

- ・ 社会実験のチラシの裏面中ほどの表記について、社会実験区間の通行可能車両は「路線バス、タクシー」と表現を修正いただきたい。また、仙台駅西口の一般車降車場に駅前通の南側から右折進入可能であるような表現となっているため、混乱を招くような表現は見直していただきたい。

#### (学識経験者意見)

- 効果検証については、もう少し検討する必要がある。コンセプト、視点及び効果検証のつながりが協議会資料に見える化されていないため、資料においてそれらを明確にすることをご検討いただきたい。
- 今後、再開発が想定される中で、社会実験を実施するこの場所は、事業者にとっても有益な場になると考えている。事業者にとってどのようなことが検証出来たら今後に向けて有益な社会実験になるのか、意見をいただけると幸いである。
- 社会実験は非常に貴重な機会であり、効果検証結果等について事業者にも活用いただけるような検証を行わないと非常にもったいない。そのため、事業者には引き続き効果検証等について意見をいただきたい。
- 回遊性向上等を目的としたマップの設置についても効果検証を行っていただきたい。
- 渋滞緩和に向けて交通総量を減らすことが重要である。社会実験までの短期間でモビリティマネジメントを行うことは現実的ではない中で、可能な限り対策を検討いただきたい。具体的には仙台駅から離れたパーキングに協力いただくことや、公共交通促進を促す等が想定される。
- 台風シーズンでの実施になるため、災害等に対する万が一の際の対応方針を今一度検討いただきたい。

#### (次回の開催日程)

- 次回の協議会は令和5年3月に開催予定である。

以上